

検定協会だより

10

令和4年10月
第502号



日本消防検定協会

検定協会だより

10

令和4年10月
第502号



JFET 日本消防検定協会

令和
4年
10月
号

<http://www.jfeii.or.jp>

目次

巻頭のことば

1 ウィズコロナ時代の教育訓練

総務省消防大学校長 鶴巻 郁夫

消防機関火災事例

4 令和3年中の規制対象物における火災発生状況（その3）

大阪市消防局 予防部

協会情報

19 「レスキューロボットコンテスト2022」への展示ブース 出展について

企画研究部 情報管理課

22 「Fire Safety & Rescue VIETNAM 2022」への出展を終えて

企画研究部 企画研究課

お知らせ

25 令和4年度危険物事故防止対策論文募集

危険物保安技術協会

27 有効期限を経過した受託評価品目

28 協会通信・業界の動き・ 消防庁の動き

34 検定・性能評価・受託評価数量 （令和4年9月）

33 新たに取得された型式一覧

ウィズコロナ時代の 教育訓練

総務省消防大学校長

鶴 巻 郁 夫



昨年、一昨年も10月に巻頭のことばのスペースを頂戴していますが、いずれも新型コロナウイルス感染症の話を中心にしております。

残念ながら、その猛威は収まる気配も無く、週間の新規感染者が先進国の中で最も多いという不名誉な記録まで残してしまいました。マスクなどの基本的な対策は維持されていたにも拘わらず、です。

消防大学校でも、次のような対策を講じて参りました。

入寮期間中の感染防止対策として、①許可を得ない校外への外出禁止、飲み会の自粛、②毎日2回の検温、体調確認、体調不良の報告徹底、③校内でのマスク着用の徹底、入室時の体温測定、④手指、寮室、教室等の定期的な消毒、⑤保温・保湿、換気などの生活環境管理、⑥教室内の学生、外部講師との離隔距離確保の徹底、⑦アクリル板の衝立等を活用した飛沫防止対策、⑧授業ごとに使用機材をアルコール消毒 など三密の回避や注意喚起等を実施し、感染予防や感染者が発生した場合の早期発見に努めるとともに、各学科の卒業式等の各種行事も簡素化いたしました。

ところが、これまた「それにも拘わらず」入寮生に感染者が発生し、寮の部屋、学科をまたいで、感染が広まってしまいました。感染者の数の多さから、保健所の立入検査も受けました。感染経路が特定されれば、そこを集中的に改善するという戦術が採れます。しかしながら、原因、感染経路は分からず、クラスターとも認められませんでした。一方で、不明を理由に手を拱いている訳にもいかないので、効果は未検証、屋上屋の批判も甘受することとして、追加対策を検討しました。

その結果、上記に加え、一部の学科については定員を繰り延べたり、近隣に住所のある一部学生については通学という特例を認める等の措置を講じた上で、地元でPCR検査・抗原検査を受けてから入校できることとするともに、現在入校している学科の学

生には、次のような対策もお願いをしています。

具体的には、①複数の学科の学生が寮内で同一階を使用することがないように学生寮の再割り当て、②浴室等寮の共用部分における感染対策の強化　を行うほか、授業における感染リスク低減のため、③教室における感染対策の強化、④リモート授業を一層活用する等です。

そこまでして消防大学校の営みを続ける理由は何でしょうか。もちろん、極端なことを言えば、感染者が急増しているときには休校をするという選択肢も無いわけではありません。しかしながら、政府として経済との両立を模索している現状で、消防大学校を休むことはあり得ないと考えています。

法学の基礎的な理論の一つに「二重の基準論」というものがあります。どちらかと言えば、立法作業をする際に抑えておくべきポイントという側面が強いのですが、簡単に言うと、精神的自由に制限をかけるときは経済的自由に制限をかけるときよりも慎重であるべき、逆に言えば、精神的自由は経済的自由より厳格に守られなければならないというものです。立法論だけでなく、国の諸制度を理解するときに通底するものと考えていますが、紙幅の都合上言葉足らずはご容赦戴くとして、なぜこれを今ここで持ち出すのか。私は、消防を、国民の生命、身体、財産を守るだけでなく、国民の暮らし、そこに根付く文化・伝統を守り、時代を超えて、クニ（「日本」、「国民」）を継承・発展させるために必要な、だけど縁の下に隠れている力持ちだと思っているからです。経済との両立を目指しているときに、精神の自由を守る消防を強力に、また高度化する営みを休むわけには参りません。消防大学校の年間入校者は15百人なので、消防吏員16万人を一巡するのに100年かかります。いわんや、消防団の方々や消防資機材を提供する関係者まで考えたら、躊躇している暇などありません。

さて、消防大学校では毎年度、計画に基づいて教育訓練を行っていますが、令和4年度は特に次の5点に力を入れています。

1つめはドローンを活用した訓練の充実で、座学だけでなく、実機で訓練を実施します。2つめはホットトレーニング実施体制の強化です、3つめは消防団活性化推進コースの教育内容の見直しを行っています。4つめは、蓄電池などのカーボンニュートラル社会向け設備が本格的に普及する前に消防に必要な知識等を習得させることとしています。5つめは土砂災害等に関する実戦訓練の実施です。

消防大学校は、消防技術の高度化等を各都道府県の消防学校とともに担う一方で、全国の消防学校が未着手法分野の教育訓練を担うフロントランナーとして、また個別に実施するのでは非効率・手に余る教育訓練を補うラストリゾートとして、その役割を果た

して参ります。

今後とも、皆様のご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和3年中の規制対象物における火災発生状況 (その3)

大阪市消防局予防部

(2) 警報設備

ア 自動火災報知設備の作動状況

規制対象物の火災353件のうち、出火当時に自動火災報知設備の設置されていた対象物での火災は261件であった。そのうち154件（59.0%）で自動火災報知設備が作動し、すべての火災において初期消火、通報、及び避難を促す等、所期の目的を達成した。

一方、作動しなかった火災は107件（41.0%）で、そのうち法定警戒不要部分での出火は25件であった。

なお、火災の発生した規制対象物1件あたりの焼損床面積で比較すると、設置済が 136.2m^2 、未設置が 21.6m^2 であり、およそ6.3倍の差が見られた。（例年、未設置の焼損床面積の方が大きい。此花で発生した倉庫火災により設置済の方が大きくなった。）

表-25 自動火災報知設備と焼損床面積との関係の作動と効果

設置状況 焼損程度区分		合計				全焼			半焼			部分焼			ぼや		爆発	
		件数	焼損床面積	焼損表面積	1 焼損床あたりの 面積の	件数	焼損床面積	焼損表面積	件数	焼損床面積	焼損表面積	件数	焼損床面積	焼損表面積	件数	焼損床面積		
未設置	総計	353	37,532	6,504	106.3	8	36,716	5,482	1	57	-	91	759	1,020	250	-	2	3
	合計	92	1,983	871	21.6	7	1,645	458	1	57	-	27	281	413	56	-	-	1
	設置義務有	5	-	85	-	-	-	-	-	-	-	2	-	85	3	-	-	-
	設置義務無	87	1,983	786	22.8	7	1,645	458	1	57	-	25	281	328	53	-	-	1
	合計	261	35,549	5,633	136.2	1	35,071	5,024	-	-	-	64	478	607	194	-	2	2
	小計	154	35,548	5,362	230.8	1	35,071	5,024	-	-	-	52	477	336	100	-	2	1
	奏功	154	35,548	5,362	230.8	1	35,071	5,024	-	-	-	52	477	336	100	-	2	1
	不奏功	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	107	1	271	-	-	-	-	-	-	-	12	1	271	94	-	-	1
	火災が小規模等	83	-	59	-	-	-	-	-	-	-	7	-	59	76	-	-	-
不動作	法定警戒不要部分	10	1	201	-	-	-	-	-	-	-	3	1	201	6	-	-	1
	不詳・その他	14	-	11	-	-	-	-	-	-	-	2	-	11	12	-	-	-

※数値は、小数点第二位以下を四捨五入。

イ 非常警報設備又は器具の使用状況と効果

規制対象物の火災353件のうち、出火当時に非常警報設備または器具の設置されていた対象物での火災は77件であった。そのうち、4件（5.2％）で非常警報設備または器具が使用され、すべての火災において通報、避難誘導活動を促す等、所期の目的を達成した。一方、使用しなかった火災は73件（94.8％）であった。

表-26 非常警報設備・器具の使用と効果

面積の単位：㎡

使用状況 \ 焼損程度区分		合計	焼損床面積	1件当たりの 焼損床面積	全焼	半焼	部分焼	ぼや	爆発
総計		77	128	1.7	1	－	19	57	－
使用	合計	4	5	1.3	－	－	1	3	－
	奏功	4	5	1.3	－	－	1	3	－
	不奏功	－	－	－	－	－	－	－	－
不使用	合計	73	123	1.7	1	－	18	54	－

※数値は、小数点第二位以下を四捨五入。

(3) 奏功事例
消火器奏功事例

用途	建物概要	防火管理状況	焼損程度	概要
(5)項口 共同住宅	防火構造建築物			
	地上 6 階	防火管理者 選任 -	ぼや	家人がリビングにて調理中に別室で他の用事をして いる間にてんぷら油が釜火温度に達し出火。共用通 路に設置されていた消火器にて初期消火実施。
	地下 - 階	消防計画 届出 -	焼損床面積 - m ²	
	建面積 432 m ²		焼損表面積 - m ²	
	延面積 1,709 m ²			

自動火災報知設備奏功事例

用途	建物概要	防火管理状況	焼損程度	概要
(6)項ハ(5) 複合用途	準耐火建築物			
	地上 4 階	防火管理者 選任 -	ぼや	訪問中の介護士が自火報のベルで火災を発見し、消 火器にて初期消火を実施。鎮火してから消防に通報 したものの。
	地下 - 階	消防計画 届出 -	焼損床面積 - m ²	
	建面積 113 m ²		焼損表面積 - m ²	
	延面積 375 m ²			

屋内消火栓設備奏功事例

用途	建物概要	防火管理状況	焼損程度	概要
(1)項イ 複合用途	耐火建築物			
	地上 4 階	防火管理者 選任 有	部分焼	出火原因は不明だが、従業員が自動火災報知設備 が鳴動したので受信機の確認を同僚に依頼。受信機 の表示場所を無線により報告を受け、火災現場に向 かい消火器及び屋内消火栓にて初期消火したものの。
	地下 - 階	消防計画 届出 有	焼損床面積 - m ²	
	建面積 13,882 m ²		焼損表面積 2 m ²	
	延面積 25,824 m ²			

スプリンクラー設備奏功事例

用途	建物概要	防火管理状況	焼損程度	概要
(5)項口 共同住宅	耐火建築物			
	地上 39 階	防火管理者 選任 有	ぼや	パチンコ台の台入出ユニットの基板上のコンデン サが何らかの原因で発熱したこと発火し、台入出 ユニットの合成樹脂カバーへ着火したこと出火に 至ったと考えられる。火災発生時の受信を受けたセコム より店長にも連絡が入り、先に現場に到着したため 建物内を確認したところスプリンクラー設備作動によ り初期消火されていた。
	地下 1 階	消防計画 届出 有	焼損床面積 - m ²	
	建面積 1,650 m ²		焼損表面積 - m ²	
	延面積 50,731 m ²			

《参考》

別表-1 用途別火災件数（月別）

用途	月	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計		353	44	19	43	23	33	24	30	24	20	39	26	28
(1)項	イ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(2)項	イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	ハ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ニ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(3)項	イ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	ロ	17	1	2	3	1	-	-	2	-	-	5	1	2
(4)項		6	1	-	-	-	1	-	-	3	-	1	-	-
(5)項	イ	4	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-
	ロ	158	20	12	20	12	16	11	15	8	10	12	9	13
(6)項	イ	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	ロ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	ハ	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	ニ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(7)項		7	2	-	-	-	-	-	-	2	-	2	1	-
(8)項		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(9)項	イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(10)項		1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
(11)項		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(12)項	イ	26	1	1	1	3	2	-	2	1	3	5	5	2
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(13)項	イ	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(14)項		10	-	-	1	1	1	-	1	1	-	3	2	-
(15)項		11	1	-	3	1	3	-	-	1	-	2	-	-
(16)項	イ	64	9	2	11	2	5	6	6	4	5	3	3	8
	ロ	40	7	1	4	3	5	3	4	3	2	4	2	2
(16の2)項		1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(17)項		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(18)項		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

別表-2 焼損程度別火災件数（月別）

焼損程度	月	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計		353	44	19	43	23	33	24	30	24	20	39	26	28
全焼		8	-	-	-	1	-	-	1	1	-	1	2	2
半焼		1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
部分焼		91	14	7	9	8	7	6	9	3	4	10	7	7
ぼや		250	30	12	34	14	26	18	19	20	16	26	17	18
爆発		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1

別表-3 出火時間別の火災件数、焼損床面積及び損害額

出火時間	焼損程度区分	合計					全焼			半焼			部分焼			ぼや			焼損床面積の単位：㎡、損害額の単位：千円	
		件数	焼損床面積	損害額	1件当たりの 焼損床面積	1件当たりの 損害額	件数	焼損床面積	損害額	件数	焼損床面積	損害額	件数	焼損床面積	損害額	件数	焼損床面積	損害額	件数	損害額
合計		353	37,532	24,404,837	106.3	69,135.5	8	36,716	24,290,257	1	57	23,201	91	759	87,075	250	-	3,822	3	482
0時		18	536	23,642	29.8	1,313.4	1	453	20,998	-	-	-	7	83	2,508	10	-	136	-	-
1時		14	86	13,859	6.1	989.9	-	-	-	-	-	-	8	86	13,512	5	-	89	1	258
2時		7	17	5,473	2.4	781.9	-	-	-	-	-	-	2	17	5,239	5	-	234	-	-
3時		12	37	2,304	3.1	192.0	-	-	-	-	-	-	4	37	2,284	8	-	20	-	-
4時		5	-	70	-	14.0	-	-	-	-	-	-	1	-	30	4	-	40	-	-
5時		8	-	201	-	25.1	-	-	-	-	-	-	1	-	11	7	-	190	-	-
6時		4	4	1,087	1.0	271.8	-	-	-	-	-	-	3	4	1,086	1	-	1	-	-
7時		10	47	8,156	4.7	815.6	-	-	-	-	-	-	4	47	8,142	6	-	14	-	-
8時		16	35,152	24,178,526	-	1,511,157.9	1	35,071	24,169,664	-	-	-	7	81	8,767	8	-	95	-	-
9時		15	204	18,549	13.6	1,236.6	1	193	16,522	-	-	-	4	11	1,771	9	-	247	1	9
10時		12	96	9,900	8.0	825.0	-	-	-	-	-	-	3	96	9,868	9	-	12	-	-
11時		22	552	52,845	26.5	2,402.0	3	546	46,607	-	-	-	7	36	5,960	12	-	278	-	-
12時		14	98	3,796	7.0	271.1	-	-	-	-	-	-	2	98	3,668	12	-	128	-	-
13時		17	-	100	-	5.9	-	-	-	-	-	-	2	-	55	15	-	45	-	-
14時		19	63	23,728	3.3	1,248.8	-	-	-	1	57	23,201	2	6	377	16	-	150	-	-
15時		23	21	2,253	0.9	98.0	-	-	-	-	-	-	7	21	1,447	16	-	806	-	-
16時		16	77	7,452	-	465.8	-	-	-	-	-	-	3	77	7,258	13	-	194	-	-
17時		17	5	479	0.3	28.2	-	-	-	-	-	-	4	5	214	12	-	50	1	215
18時		22	29	2,838	1.3	129.0	-	-	-	-	-	-	4	29	2,560	18	-	278	-	-
19時		28	380	34,906	13.6	1,246.6	1	372	34,704	-	-	-	3	8	23	24	-	179	-	-
20時		19	92	3,947	4.8	207.7	1	81	1,762	-	-	-	4	11	1,866	14	-	319	-	-
21時		17	3	2,970	0.2	174.7	-	-	-	-	-	-	5	3	2,777	12	-	183	-	-
22時		10	-	7,459	-	745.9	-	-	-	-	-	-	2	-	7,424	8	-	35	-	-
23時		8	3	297	0.4	37.1	-	-	-	-	-	-	2	3	208	6	-	89	-	-

※数値は、小数点第二位以下を四捨五入。

別表-4 火災発生対象物の焼損程度及び損害額

焼損程度区分 用途		対象物数	合計					全焼				半焼				部分焼				ぼや		焼損床面積の単位：㎡、損害額の単位：千円		燃発	
			件数	焼損床面積	損害額	1件当たりの 焼損床面積	1件当たりの 損害額	件数	焼損床面積	損害額	件数	焼損床面積	損害額	件数	焼損床面積	損害額	件数	焼損床面積	損害額	件数	焼損床面積	損害額	件数	焼損床面積	損害額
(1)項	イ	105,176	353	37,532	24,404,837	3,900.2	2,073.2	8	36,716	24,290,257	1	57	23,201	91	759	87,075	250	-	3,822	3	482	-	-		
	ロ																								
(2)項	イ																								
	ロ																								
	ハ																								
	ニ																								
(3)項	イ																								
	ロ																								
(4)項																									
(5)項	イ																								
	ロ																								
	イ																								
	ロ																								
(6)項	ハ																								
	ニ																								
(7)項																									
(8)項																									
(9)項	イ																								
	ロ																								
(10)項																									
(11)項																									
(12)項	イ																								
	ロ																								
(13)項	イ																								
	ロ																								
(14)項																									
(15)項																									
	イ																								
(16)項	ロ																								
(1602)項																									
(17)項																									
(18)項																									

※数値は、小数点第二位以下を四捨五入。

別表-5 建築物構造別及び用途別火災件数、焼損床面積及び損害額

焼損程度区分 用途		合計										耐火建築物										準耐火建築物										非耐火建築物等										
		件数					焼損床面積					件数					焼損床面積					件数					焼損床面積					件数					焼損床面積					
		小計	全焼	半焼	部分焼	ほや	焼	床	面	積	焼	小計	全焼	半焼	部分焼	ほや	焼	床	面	積	焼	小計	全焼	半焼	部分焼	ほや	焼	床	面	積	焼	小計	全焼	半焼	部分焼	ほや	焼	床	面	積		
		352	8	1	91	250	3	37,552	24,463	13,771	70	1	-	-	1	-	-	-	-	-	70	47	3	1	115	28	-	-	-	-	911	92,482	29	4	-	8	17	-	960	87,714		
(1)項	イ	1	-	-	1	-	-	-	-	-	70	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
(1)項	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
(2)項	イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
(2)項	ロ	1	-	1	-	-	30	1,984	1	-	30	1,984	-	-	1	-	-	-	-	-	30	1,984	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(2)項	ハ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(2)項	ニ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(3)項	イ	1	1	-	-	-	232	7,445	-	-	232	7,445	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
(3)項	ロ	17	4	-	2	11	-	767	76,041	4	-	43	4	-	-	4	-	-	-	-	43	4	1	-	1	2	-	-	-	-	106	6,889	9	3	-	1	5	-	661	69,109		
(4)項	ロ	6	-	-	1	5	-	-	706	6	-	706	6	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(5)項	イ	4	-	-	2	2	-	-	754	3	-	754	3	-	-	2	1	-	-	-	754	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(5)項	ロ	158	-	-	44	112	2	474	48,887	136	-	33	101	2	-	-	-	-	-	-	336	30,251	12	-	6	6	-	-	-	-	74	7,596	10	-	-	5	5	-	64	11,040		
(5)項	イ	1	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(6)項	ロ	1	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
(6)項	ハ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(6)項	ニ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(7)項	イ	7	-	-	-	7	-	-	168	7	-	168	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(8)項	イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(9)項	イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(9)項	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(10)項	イ	1	-	-	-	1	-	-	9	1	-	9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(11)項	イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(12)項	イ	26	-	1	4	21	-	57	31,697	9	-	-	2	7	-	-	-	-	-	-	4,796	16	-	1	2	13	-	-	-	-	57	26,896	1	-	-	-	-	1	-	-		
(12)項	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(13)項	イ	2	-	-	-	2	-	-	10	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(13)項	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(14)項	イ	10	3	-	3	3	1	35,827	4,208,661	6	1	-	2	2	-	-	-	-	-	-	35,169	4,170,006	4	2	-	1	-	-	-	-	658	38,861	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(15)項	イ	11	-	-	3	8	-	33	1,004	11	-	-	3	8	-	-	-	-	-	-	33	1,004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(16)項	イ	64	-	-	20	44	-	65	11,519	54	-	-	16	38	-	-	-	-	-	-	46	7,471	5	-	3	2	-	-	-	-	16	3,940	5	-	-	1	4	-	-	3	108	
(16)項	ロ	40	-	-	10	30	-	47	15,672	33	-	-	7	26	-	-	-	-	-	-	47	7,354	4	-	-	2	2	-	-	-	-	8,305	3	-	-	1	2	-	-	12		
(16)項	ハ	1	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
(17)項	イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(18)項	イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※ 本建築等とは、耐火又は準耐火建築物以外の建築物をいう。

別表-6 火災発生原因別の焼損程度及び損害額

焼損床面積の単位:m、損害額の単位:千円

原因	焼損程度区分		合計			全焼			半焼			部分焼			ぼや			爆発	
	件数	焼損床面積	損害額	1 焼損床面積の	1 件損害額の	件数	焼損床面積	損害額	件数	焼損床面積	損害額	件数	焼損床面積	損害額	件数	焼損床面積	損害額	件数	損害額
合計	353	37,532	24,404,837	106.3	69,135.5	8	36,716	24,290,257	1	57	23,201	91	739	87,075	250	-	3,822	3	482
たばこ	5	4	118	0.8	23.6	-	-	-	-	-	-	2	4	110	3	-	8	-	-
	44	108	15,718	2.5	357.2	-	-	-	-	-	-	13	108	15,383	31	-	325	-	-
放火	42	35,250	24,181,659	839.3	575,753.8	1	35,071	24,169,664	-	-	-	16	179	11,879	25	-	116	-	-
	7	-	99	-	14.1	-	-	-	-	-	-	2	-	9	5	-	90	-	-
天ぷら油	37	7	1,203	0.2	32.5	-	-	-	-	-	-	7	7	876	30	-	327	-	-
	6	-	13	-	2.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	13	-	-
電気製品	40	28	9,138	0.7	228.5	-	-	-	-	-	-	10	28	7,798	29	-	1,331	1	9
	40	162	24,056	4.1	601.4	-	-	-	-	-	-	16	162	23,937	24	-	119	-	-
電気配線類	26	82	2,019	3.2	77.7	1	81	1,762	-	-	-	4	1	205	21	-	52	-	-
	13	21	1,033	1.6	78.5	-	-	-	-	-	-	4	21	991	9	-	42	-	-
ライター	10	-	95	-	9.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	95	-	-
	7	780	67,920	111.4	9,702.9	2	646	37,520	1	57	23,201	1	77	7,129	3	-	70	-	-
自然発火	7	19	2,048	2.7	292.6	-	-	-	-	-	-	2	19	2,026	5	-	22	-	-
	5	3	116	0.6	23.2	-	-	-	-	-	-	2	3	57	3	-	59	-	-
電気こんろ	4	-	24	-	6.0	-	-	-	-	-	-	1	-	21	3	-	3	-	-
	3	98	30	32.7	10.0	-	-	-	-	-	-	2	98	30	1	-	-	-	-
ストーブ(電気以外)	2	-	6,679	-	3,339.5	-	-	-	-	-	-	1	-	6,678	1	-	1	-	-
	2	-	1,113	-	556.5	-	-	-	-	-	-	1	-	1,110	1	-	3	-	-
溶接(断)機	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	17	970	88,896	57.1	5,229.2	4	918	81,311	-	-	-	5	52	7,387	8	-	198	-	-
コンデンサ	35	-	2,860	-	81.7	-	-	-	-	-	-	2	-	1,439	31	-	948	2	473
	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自動車等(放火除く)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
火遊び	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不明	17	970	88,896	57.1	5,229.2	4	918	81,311	-	-	-	5	52	7,387	8	-	198	-	-
	35	-	2,860	-	81.7	-	-	-	-	-	-	2	-	1,439	31	-	948	2	473

※数値は、小数点第二位以下を四捨五入。

別表-7 原因別及び出火時間別火災件数

原因 出火時間	合計	たばこ			放火		天ぷら油		電気製品	電気配線類	ガスこんろ	ライター	電気ストーブ	自然発火	ローソク	電気こんろ	ストーブ（電気以外）	溶接（断）機	コンデンス	自動車等（放火除く）	火遊び	不明	その他
		寝たばこ	その他	建物内	建物外	ガス	その他																
合計	353	5	44	42	7	37	6	40	40	26	13	10	7	7	5	4	3	2	2	1	17	35	
0時	18	-	2	3	-	1	-	1	5	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	2	1	
1時	14	-	2	2	2	1	-	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
2時	7	-	-	-	-	2	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
3時	12	1	2	3	1	-	1	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4時	5	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
5時	8	1	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	
6時	4	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
7時	10	-	3	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	1	-	-	-	1	-	2	-	-	
8時	16	1	2	3	-	2	-	3	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	
9時	15	-	4	3	-	-	-	1	3	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	
10時	12	-	2	3	1	1	-	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
11時	22	-	2	3	-	2	-	2	-	1	-	1	1	1	1	-	-	-	-	3	5	5	
12時	14	-	3	1	1	-	-	-	2	2	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	2	2	
13時	17	-	3	1	-	3	-	2	-	1	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	4	
14時	19	-	1	2	-	1	2	-	4	3	2	-	1	1	-	-	2	-	-	-	-	1	
15時	23	-	3	3	-	1	-	6	3	2	3	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	
16時	16	-	1	-	-	4	-	5	2	1	-	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	1	
17時	17	-	3	2	1	1	-	1	1	2	-	2	-	-	-	-	1	-	1	-	2	2	
18時	22	-	-	1	-	3	-	4	4	1	1	1	1	-	-	-	-	1	-	2	4	4	
19時	28	1	3	3	-	5	-	4	2	6	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	2	2	
20時	19	1	1	2	1	1	1	2	1	1	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	2	
21時	17	-	4	1	-	3	2	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	
22時	10	-	1	2	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	
23時	8	-	1	1	-	2	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	

別表-8 原因別及び出火箇所別火災件数

原因 出火箇所	合計	たばこ		放火		天ぷら油		電気製品	電気配線類	ガスこんろ	ライター	電気ストーブ	自然発火	ロソク	電気こんろ	ストーブ（電気以外）	溶接（断）機	コンデンサ	自動車等（放火除く）	火遊び	不明	その他
		喫たばこ	その他	建物内	建物外	ガス	その他															
合計	353	5	44	42	7	37	6	40	40	26	13	10	7	7	5	4	3	2	2	1	17	35
居室	97	5	20	10	-	1	-	9	12	1	9	8	-	5	1	3	-	-	-	-	11	2
台所	63	-	2	4	-	21	6	5	-	17	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	1	4
作業場・工場	25	-	-	-	-	1	-	4	2	-	-	-	1	-	-	1	1	2	-	-	-	13
調理室（場）	23	-	1	-	-	11	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
一般倉庫	20	-	3	4	-	-	-	2	3	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	1	2
飲食店舗部分	15	-	-	1	-	2	-	-	2	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	6
敷地内	10	-	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ベランダ・バルコニー	9	-	6	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
集積場・置場（屋内）	8	-	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
物品販売店舗部分	8	-	-	1	-	-	-	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
廊下・階段	6	-	-	4	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一般事務室	5	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
機械室	5	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
玄関	5	-	-	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
サービス店舗部分	5	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他（建物火災）	5	-	2	1	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広間・ホール	5	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
空室	3	-	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
実験・研究室	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駐輪場（屋内）	3	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
天井裏・屋根裏	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
屋上	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
押入・納戸	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
便所	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浴室	2	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外周部（建物以外）	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
階段室	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
危険物倉庫・貯蔵庫	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
教室	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
休憩室	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
更衣室	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広告塔	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
診療室	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
洗面所	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他（その他の火災）	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
体育室（館）	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ダクトスペース	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駐車場（屋内）	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
駐車場（屋外）	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
電気室	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
プラットホーム	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
湯沸室（場）	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
遊技場部分	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不明	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-

別表-9 建築物構造別及び用途別の死傷者数

建築物構造区分 用途		合計				耐火建築物				準耐火建築物				木造建築物等			
		件数	死者	自殺者	負傷者	件数	死者	自殺者	負傷者	件数	死者	自殺者	負傷者	件数	死者	自殺者	負傷者
合計		353	29	-	101	277	29	-	84	47	-	-	8	29	-	-	9
(1)項	イ	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(2)項	イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ハ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ニ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(3)項	イ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	ロ	17	-	-	-	4	-	-	-	4	-	-	-	9	-	-	-
(4)項		6	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(5)項	イ	4	-	-	2	3	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	158	4	-	66	136	4	-	58	12	-	-	2	10	-	-	6
(6)項	イ	1	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ハ	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	ニ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(7)項		7	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(8)項		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(9)項	イ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(10)項		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(11)項		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(12)項	イ	26	-	-	5	9	-	-	1	16	-	-	4	1	-	-	-
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(13)項	イ	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(14)項		10	-	-	2	6	-	-	1	4	-	-	1	-	-	-	-
(15)項		11	-	-	3	11	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
(16)項	イ	64	25	-	15	54	25	-	11	5	-	-	1	5	-	-	3
	ロ	40	-	-	7	33	-	-	7	4	-	-	-	3	-	-	-
(16の2)項		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(17)項		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(18)項		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ 死者は、放火自殺者を除く。自殺者とは、放火自殺者をいう。
負傷者は、消防職員を除く。

別表-10 消火設備による初期消火活動とその効果

焼損程度区分 初期消火		焼損床面積、焼損表面積及び1件当りの焼損床面積の単位:㎡															
		合計				全焼			半焼			部分焼			ぼや		
		件数	焼損床面積	焼損表面積	1件当たりの焼損床面積	件数	焼損床面積	焼損表面積	件数	焼損床面積	焼損表面積	件数	焼損床面積	焼損表面積	件数	焼損床面積	焼損表面積
合計		100	36,074	25	360.7	5	35,919	4	-	-	-	28	155	20	67	-	1
消火器具	小計	95	36,074	22	379.7	5	35,919	4	-	-	-	25	155	17	65	-	1
	完全消火	63	13	7	0.2	-	-	-	-	-	-	10	13	6	53	-	1
	延焼阻止	9	1	2	0.1	-	-	-	-	-	-	3	1	2	6	-	-
	効果無	23	36,060	13	1,567.8	5	35,919	4	-	-	-	12	141	9	6	-	-
屋内消火栓設備	小計	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-
	完全消火	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-
	延焼阻止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	効果無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
泡消火設備	小計	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	完全消火	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	延焼阻止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	効果無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
スプリンクラー設備	小計	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
	完全消火	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	延焼阻止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	効果無	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
粉末消火設備	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	完全消火	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	延焼阻止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	効果無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋外消火栓設備	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	完全消火	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	延焼阻止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	効果無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
動力消防ポンプ	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	完全消火	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	延焼阻止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	効果無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※各設備を重複して使用している場合は、主として使用したもののみを計上した。

火災発生対象物以外の対象物等に設置されている消火設備を含む。

数値は、小数点第二位以下を四捨五入。

別表-11 消火設備以外による初期消火活動とその効果

焼損程度区分 初期消火		焼損床面積、焼損表面積及び1件当りの焼損床面積の単位:㎡															
		合計				全焼			半焼			部分焼			ぼや		
		件数	焼損床面積	焼損表面積	1件当たりの焼損床面積	件数	焼損床面積	焼損表面積	件数	焼損床面積	焼損表面積	件数	焼損床面積	焼損表面積	件数	焼損床面積	焼損表面積
合計		126	205	15	1.6	-	-	-	-	-	-	19	205	15	107	-	-
水道水等	小計	94	102	12	1.1	-	-	-	-	-	-	15	102	11	79	-	1
	完全消火	77	8	5	0.1	-	-	-	-	-	-	6	8	4	71	-	1
	延焼阻止	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
	効果無	15	94	7	6.3	-	-	-	-	-	-	9	94	7	6	-	-
その他	小計	32	103	5	3.2	-	-	-	-	-	-	4	103	4	28	-	1
	完全消火	26	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	25	-	1
	延焼阻止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	効果無	6	103	3	17.2	-	-	-	-	-	-	3	103	3	3	-	-

※水道水等には、水道・浴槽・汲み置きの水が該当する。

数値は、小数点第二位以下を四捨五入。

別表-12 連結送水管の使用状況とその効果

焼損床面積及び1件当たりの焼損床面積の単位:㎡

使用状況		焼損程度区分	合計	焼損床面積	1件当たりの 焼損床面積	全焼	半焼	部分焼	ぼや	爆発
合計			165	26	0.2	1	-	41	124	-
使用	小計		25	15	0.6	-	-	19	6	-
	出火階別内訳	地階	-	-	-	-	-	-	-	-
		3～5階	16	11	0.7	-	-	12	4	-
		6～10階	8	4	0.5	-	-	6	2	-
		11階以上	1	-	-	-	-	1	-	-
		屋根屋上	-	-	-	-	-	-	-	-
未使用	小計		141	11	0.1	1	-	22	118	-
	必要無し		54	4	0.1	1	-	10	43	-
	出火階別内訳	地階	8	-	-	-	-	-	8	-
		3～5階	33	5	0.2	-	-	7	26	-
		6～10階	34	2	0.1	-	-	5	29	-
		11階以上	11	-	-	-	-	-	11	-
		屋根屋上	1	-	-	-	-	-	1	-

※ 設置対象物は、1階及び2階から出火した対象物を除く。
 使用したものは、すべて効果があったもの。
 数値は、小数点第二位以下を四捨五入。

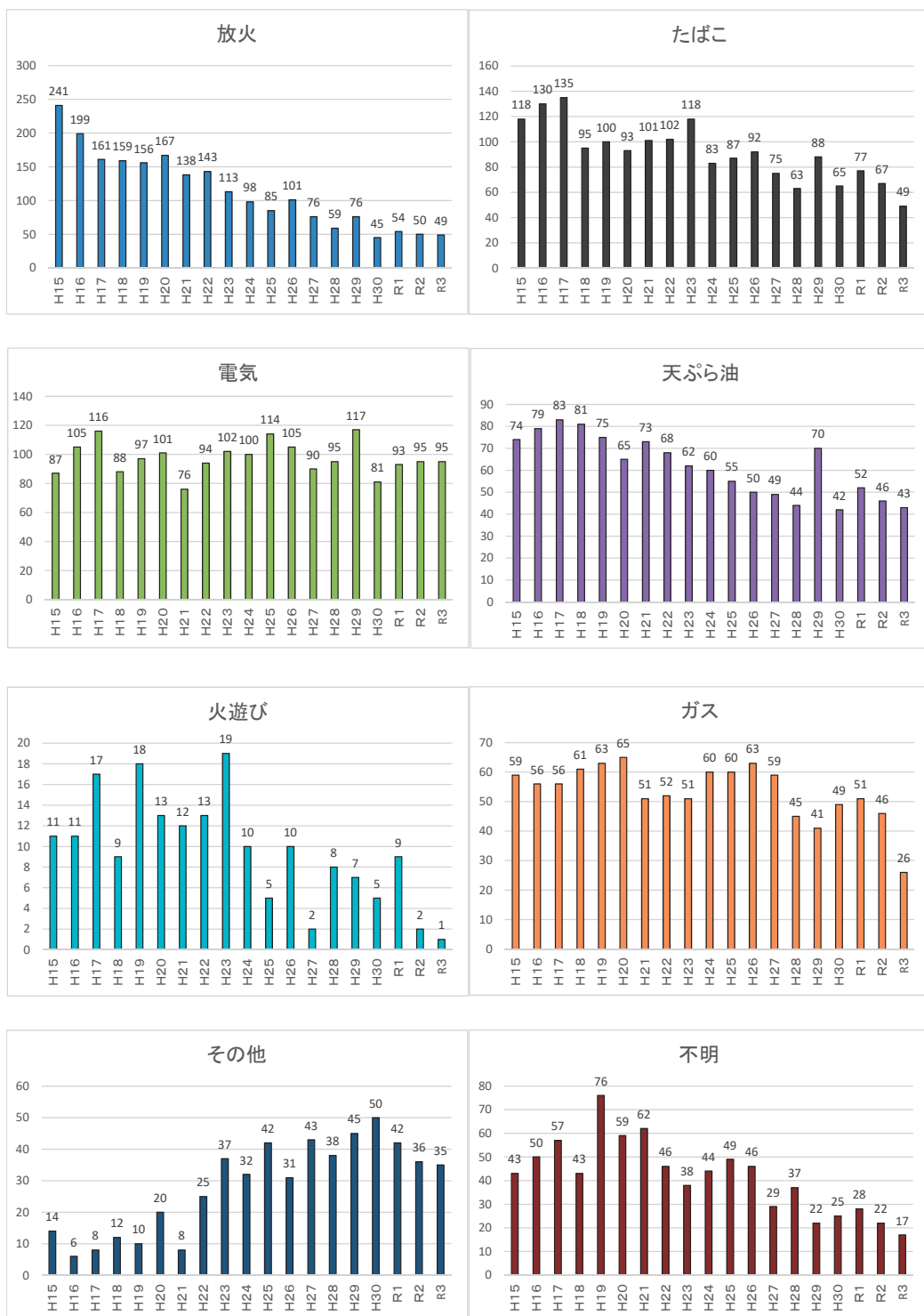


図 原因別火災発生件数の経年変化



「レスキューロボットコンテスト2022」への 展示ブース出展について

企画研究部 情報管理課

令和4年8月13日（土）から14日（日）の2日間、「未来の救命救助につながるロボット競技会」と題し、神戸サンボーホールにおいて「レスキューロボットコンテスト2022」（以下「競技会」という。）が開催され、その併設行事として「あそぼう！まなぼう！ロボットランド」（以下「併設行事」という。）が同会場にて開催されました。

本併設行事には、日本消防検定協会（以下「協会」という。）も参加し、協会の事業及び検定制度に関する理解を深めていただくとともに、住宅用防災機器の普及促進・啓発等を併せて行うための展示ブースを出展しました。

2日間の来場者数は3,508人となり、コロナ禍の中での開催となりましたが、たくさんの方が来場されました。

当協会の展示ブースには、主に協会の概要及び業務の紹介を目的として次のものを展示し、また配布物を配布しました。



1 映像の放映

展示ブースの正面に設置したモニターで協会業務の紹介映像を放映しました。

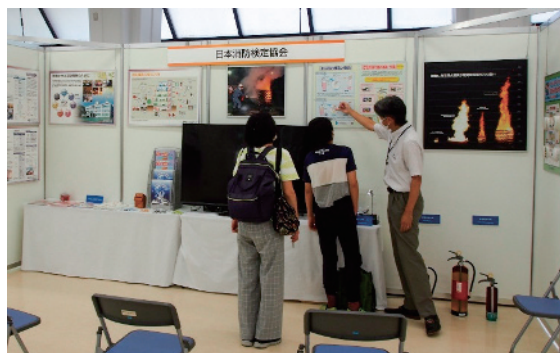
2 パネルの展示

協会の業務等を紹介するパネル及び写真を8枚展示しました。

- (1)「信頼できる消防機器のために」
- (2)「検定業務」



- (3) 「受託評価業務」
- (4) 「消防機器の使われ方」
- (5) 「消火器の構造と機能・住宅用消火器の点検交換」
- (6) 「火災を早く知らせる 住宅用火災警報器展示パネル」
- (7) 写真「普通火災消火試験の様子」
- (8) 写真「模型に見る消火器具が有効な初期消火の違い」



3 カットモデルの展示

閉鎖型スプリンクラーヘッドのカットモデルを展示すると共に、実際に手に取って触れていただくことを目的とし消火器（粉末消火器・蓄圧式消火器・住宅用消火器）のカットモデルを展示しました。

4 配布物

コロナ感染防止を踏まえ、「協会のパンフレット」、「火災はこうして起きる」及び「住宅用消火器と住宅用火災警報器の啓発チラシ」の他、協会ネーム入りボールペン、ウェットティッシュ及びプラスチック製組み立て式のペン（スマホ）スタンドを希望者に自由にお取りいただく形で配布しました。



5 終わりに

本競技会は、コロナ禍の中での開催となりましたが、基本的な感染対策として入場時の検温と手指消毒を実行委員会にて徹底して行なった中、多数の市民の方や関係者の方などが集まり「未来の救命・救助につながるロボット競技会」と共に、科学技術の将来を担う子供たちに防災、減災、レスキューの大切さやロボットの最新技術を楽しみながら学ぶ併設行事に当協会としての展示ブースを出展したことで、協会の事業

及び検定制度に関する一層の理解を深めていただいたものと思い、更には住宅用防災機器の普及促進・啓発等を行えたものと感じています。

最後に、ご来場いただいた皆様をはじめ、協会の出展にご協力、ご尽力いただいた方々にこの紙面をお借りしてお礼を申し上げます。今後においても、当協会の業務について一層ご理解いただけますよう、そして防火・防災意識の啓発・高揚につながる出展を企画してまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



「Fire Safety & Rescue VIETNAM 2022」 への出展を終えて

企画研究部 企画研究課

2022年8月18日(木)～8月20日(土)の3日間、ベトナム社会主義共和国ホーチミン市で開催されたFire Safety & Rescue VIETNAM (ベトナム国消防防災展) 2022に出展しました。

ベトナム国消防防災展へは2019年に初出展しましたが、2020年及び2021年は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い開催中止となっていたため、当協会としては2回目、3年ぶりの出展となりました。前回同様にメッセフランクフルト主催のもと行われ、一般社団法人全国消防機器協会の会員企業と共同で「JAPAN FIRE PAVILION」として統一ロゴマークを掲示して一体感のある展示を行い、日本の消防機器の品質の高さをベトナム国に紹介しました。

会場は、ベトナム国最大の都市であるホーチミン市（人口約920万人）中心部から車で15分程度の距離に位置しているSaigon Exhibition & Convention Center (SECC) で行われました。市内は、バイクの交通量が非常に多く、道路を横断時はバイクに轢かれないように細心の注意を払いました。

ホーチミン市は雨期で、スコールが降り湿度が高く気温も連日30℃を超える暑さでしたが、ホテルから出展会場の行き帰りは傘を使うこともなく、東京よりは快適な気候であると感じました。



ベトナム国地図



「JAPAN FIRE PAVILION」
統一ロゴマーク

【当協会の出展内容】

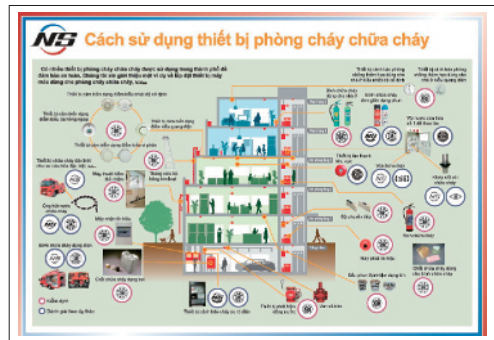
ブースでは、当協会の組織概要、日本の消防用機械器具等の検定制度・自主表示対象



当協会ブース



チラシ表面



チラシ裏面

機械器具等の品質評価制度等、当協会が検定及び評価を行っている消防機器についてベトナム語と英語により説明したパネルを展示しました。

また、パネルの内容を要約したベトナム語のチラシ、当協会の名入りボールペン及び手提げ袋を配布し、日本の消防機器等の規格・認証制度等の紹介を行いました。

【出展を終えて】

3年前の同防災展と比較して、今回は規模が1/2になっていましたが、主催者による発表では、日本のほかに主催国であるベトナムをはじめアメリカ、シンガポール、韓国等15カ国から約250社が出展し、3日間の来場者数は8,896人であったとされています。

来場者層は公安省関係者、消防設備業者、建設事業者、警備事業者及び商社等と見受けられました。また、最終日は土曜日でもあり、子供を連れた一般の方とおぼしき来場者も見られました。当協会としては通訳を含め3人で3日間対応し、持参したチラシ

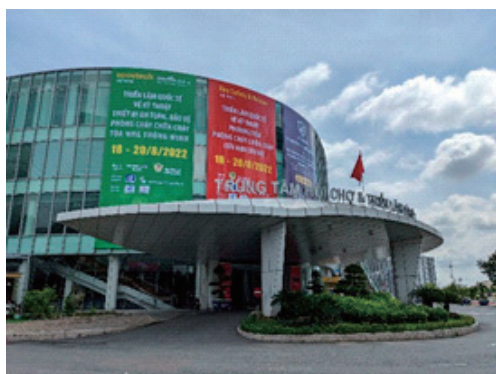
1,000部のうちほぼ全数の916部を配布することができました。出展をとおして、現地の方々の日本企業に対する信頼は非常に高いことが分かりましたが、消防機器の分野では、既に中国や韓国等の企業が進出しており、日本の規格や製品をベトナムに展開していくためには、積極的に情報発信していく必要性を感じました。

初日の華やかなオープニングセレモニーや、屋外の会場でのホーチミン消防隊による、はしご付消防ポンプ自動車及び放水ロボットの放水デモンストレーションは、日本の防災展と変わらない印象を受けました。

一方、前日の準備においては展示品が届くか心配でしたが、時間どおりに配送されており安堵したものの会場の空調が入っておらず、設営中のブースも多数あり高温多湿の中粉塵が多く飛散する、非常に過酷な中での設営作業となりました。また、室内の一部のブースでは、カフェを併設しライブ演奏をするなど会場全体を盛り上げる工夫が見られましたが、音楽の音量が大きすぎて、質疑応答等の会話が困難な時もあるほどで、この点に関しては日本との違いを感じました。

また、出展からの帰国時はベトナムからの全ての入国者（日本人を含む）は、出国前72時間以内にPCR検査を受け、医療機関等により発行された陰性の検査証明書を入国時に検疫所へ提示しなければならなかったため、帰国日である日曜日の前々日にPCR検査を受けました。結果を受け取るまではドキドキでしたが、当協会は2名とも無事帰国の帰路に着くことができました。

最後になりますが、ベトナムは都市部では高層建築物が増加してきており、また、まもなくハノイではベトナム初の地下鉄が完成するとのことでした。街を歩くと平均年齢が低いため街には若い人が多く、工事現場も多く見られ、開発途上国特有の活力を感じる良い機会となりました。



Saigon Exhibition & Convention Center (SECC) 外観



出展証明書

◇ 令和4年度 ◇

危険物事故防止対策論文募集

消防庁の統計によると、令和3年中の危険物施設における事故発生件数は646件で、これは、平成元年以降で最も事故が少なかった平成6年と比較すると、危険物施設は減少しているにもかかわらず、約2倍に増加しています。

このようなことから、今後も事故防止対策に取り組んでいく必要があり、安全で快適な社会づくりに向けて、危険物の製造、貯蔵、取扱い、運搬に係る事故防止を図ることを目的として、論文を募集します。今年度から主テーマを設けることとし、今回のテーマは『危険予知活動に関するもの』といたします。なお、危険物に係る事故防止や安全対策など、普段行っている身近な行動に関するものも引き続き幅広く受け付けますので、皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

論文のテーマ

1. 令和4年度の主テーマ

「危険予知活動(KYK)に関するもの」

2. 危険物に係る事故防止や安全対策に関するもの。

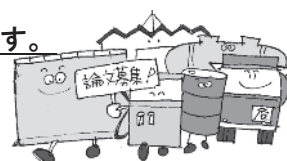


応募資格

特に制限はありません。どなたでも応募できます。

応募締切

令和5年1月31日(火) 必着!



選考方法

学識経験者、関係行政機関の職員等による審査委員会において、厳正な審査を行います。

賞

消防庁長官賞	賞状及び副賞（20万円）	<2編以内>
危険物保安技術協会理事長賞	賞状及び副賞（10万円）	<2編以内>
奨励賞	賞状及び副賞（2万円）	<若干名>

※ 副賞は危険物保安技術協会からお渡しいたします。

受賞の表彰式は、危険物安全週間（令和5年6月の第2週）中に東京で開催される、危険物安全大会において行います。

応募方法

- ① 論文は、日本語で書かれたもので未発表のものに限ります。ただし、限られた団体、組織内等で発表された場合は応募可能とします。（一部に限り、既発表の部分を使用する場合は、その旨を本文中に明記してください。）受賞論文は、危険物保安技術協会のホームページに発表されますので、必要に応じて関係者の事前の了解を取ることをお願いします。また、著作権等の問題を生じないようにご注意ください。
- ② A4(字数換算：1ページあたり40字×40行程度)1枚以上10枚以内程度としてください。なお、図表及び写真は、文中への挿入、本文と別に添付のいずれも可能です。ただし、本文と別に添付する場合に、字数換算をA4(1ページあたり1,600字程度)で行い、全体を10枚相当分以内程度としてください。
記入例は、ホームページ (<http://www.khk-syoubou.or.jp/guide/paper.html>) をご確認ください。
- ③ 論文の概要を添付してください。
- ④ 論文は、「論文タイトル」、「氏名（ふりがな）」、「連絡先（住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）」及び受賞論文発表時に明記する勤務先等がある場合の「勤務先名称及び所属」を記載した用紙を添付のうえ次のあて先（E-mail可）までお送りください。
- ⑤ 共同で取り組んでいる活動の場合には、連名の応募も可としますが、代表者が分かるように記載ください。
- ⑥ 論文は、返却いたしません。

あて先及びお問い合わせ先

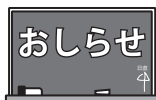


危険物保安技術協会 事故防止調査研修センター
〒105-0001
東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル
Tel 03-3436-2356 Fax 03-3436-2251
<http://www.khk-syoubou.or.jp/>



主 催	消防庁、危険物保安技術協会
協 賛	全国消防長会、一般社団法人日本化学工業協会、石油化学工業協会、石油連盟 電気事業連合会、一般社団法人日本鉄鋼連盟、一般社団法人日本損害保険協会 公益社団法人日本火災学会、全国石油商業組合連合会（順不同）

制作：危険物保安技術協会



有効期限を経過した受託評価品目

【放火監視機器・放火監視センサー】

型 式 番 号	承認 年月日	住 所	依 頼 者	有効期限の 終期日
品評放第 26～2～1号	H29.8.31	群馬県桐生市相生町二丁目316番地1	株式会社オージーシステム	R4.8.30

【非常警報設備・スピーカー】

型 式 番 号	承認 年月日	住 所	依 頼 者	有効期限の 終期日
認評放第29～9号	H29.8.22	神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地	株式会社JVCケンウッド・ 公共産業システム	R4.8.21
認評放第29～10号	H29.8.22	神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地	株式会社JVCケンウッド・ 公共産業システム	R4.8.21
認評放第29～11号	H29.8.22	神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地	株式会社JVCケンウッド・ 公共産業システム	R4.8.21
認評放第29～12号	H29.8.22	神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地	株式会社JVCケンウッド・ 公共産業システム	R4.8.21
認評放第29～13号	H29.8.22	神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地	株式会社JVCケンウッド・ 公共産業システム	R4.8.21
認評放第29～14号	H29.8.22	神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地	株式会社JVCケンウッド・ 公共産業システム	R4.8.21
認評放第29～15号	H29.8.22	神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地	株式会社JVCケンウッド・ 公共産業システム	R4.8.21
認評放第29～16号	H29.8.22	神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地	株式会社JVCケンウッド・ 公共産業システム	R4.8.21

上記の機械器具等が、型式に係る有効期限を経過しましたのでお知らせします。

上記の機械器具等は、有効期限の終期日以降、当該型式に基づく製品について新たに当協会の型式適合評価を受け、合格表示が行われることはありません。

既に設置され又は型式適合評価を受け合格表示が行われた上記の機械器具等については、型式適合評価時において基準への適合性が確認されており適正な設置及び維持管理がされていれば、当該有効期限の経過による使用への影響はありません。

■■■業界の動き■■■

－会議等開催状況－

◆（一社）日本火災報知機工業会◆

○業務委員会 （令和4年9月8日）

- ・住宅用火災警報器関連の報告他
検定申請個数等の定例報告
- ・消防機器等製品情報センター運営会議
の結果について
- ・事務局長会議の結果について
- ・法令順守の徹底について
- ・イオン化式感知器の運搬方法について
(周知の依頼)
- ・型式適合検定受験再開について 日本
フェンオール（株）
- ・委員長連絡会報告

○メンテナンス委員会

（令和4年9月20日）

- ・点検実務検討小委員会報告
- ・維持運用管理手法小委員会報告
- ・委員長連絡会報告

○技術委員会 （令和4年9月15日）

- ・火報システム技術検討小委員会報告
- ・感知器の環境特性調査小委員会報告
- ・委員長連絡会報告

○設備委員会 （令和4年9月22日）

- ・設備性能基準化小委員会報告
- ・工事基準書改訂小委員会報告
- ・委員長連絡会報告

○システム企画委員会

（令和4年9月30日）

- ・火報企画小委員会報告について
- ・検定細則の一部改正について
- ・委員長連絡会報告

○住宅防火推進委員会

（令和4年9月28日）

- ・交換推進WGについて
- ・住宅用火災警報器検定申請数について
- ・お客様電話相談室受付結果について
- ・第49回国際福祉機器展について
- ・令和4年度住宅防火推進シンポジウム
小樽市報告について
- ・社会貢献事業住宅防火対策講演会につ
いて
- ・委員長連絡会について

◆（一社）日本消火器工業会◆

○第6回 企業委員会

（令和4年9月8日）

- ・検定等申請・回収状況
- ・機器協会 会議報告
- ・消火器リサイクル推進センターからの
報告

○第5回 技術委員会

（令和4年9月20日 対面・Web併用
会議）

- ・消火器の検定細則について

◆（一社）日本消火装置工業会◆

○第423回「技術委員会」

（令和4年9月2日 書面会議）

- ・「建築設備（衛生）研修」講師派遣依頼について
- ・その他

○第208回「第一部技術分科会」

（令和4年9月16日 日本消火装置工業会）

- ・採水口の等価管長について
- ・蓄電池消火実験について
- ・その他

○第203回「第二部技術分科会」

（令和4年9月15日 日本消火装置工業会）

- ・PFOS交換リーフレットについて
- ・水質汚濁防止法改正への対応について
- ・サンプリング検査説明資料について
- ・その他

○第184回「第三部技術分科会」

（令和4年9月1日 日本消火装置工業会）

- ・消防法施行令の一部を改正する政令（案）等に対する意見公募について
- ・令和4年度静岡県消防設備協会講師の要請について
- ・自主認定申請書について
- ・その他

○第185回「第三部技術分科会」

（令和4年9月20日 日本消火装置工業会）

- ・消防法施行令の一部を改正する政令等について
- ・ハロンの適切な管理のための自主行動計画 について
- ・令和5年度消防防災研究助成事業の公募について
- ・その他

◆（一社）日本消防ポンプ協会◆

○総務委員会

（令和4年9月27日 会場・web併用会議）

- ・全国消防機器協会事務局長会議について
- ・全国消防長会からの要求について
- ・令和4年度救助装備大会について
- ・新銘板について
- ・令和4年度消防財政実務研修会について
- ・全国消防救助シンポジウムについて
- ・令和4年度第2回理事会について
- ・シェムリアップ報告について
- ・第29回全国消防操法大会について
- ・第6回緊急消防援助隊全国合同訓練について
- ・今後の予定について
- ・その他

協 会 通 信

○大型技術委員会

(令和4年9月26日 web会議)

- ・ 銘板見直しについて
- ・ 銘板の在庫状況等について
- ・ 消防防災研究助成事業助成金について

- ・ 品質評価細則の見直しについて
- ・ ISO/TC21/SC6/WG8国内委員会について
- ・ 消防シャシ供給遅れ等について
- ・ その他

協 会 通 信

人事異動

◆日本消防検定協会◆

○令和4年10月1日付

(氏名)	新	旧
【昇格】		
中村 洋介	総務部監理課 管理係長 主幹検定員	総務部監理課 管理係長 主任検定員
後藤 恵子	総務部監理課 経理係長 主幹検定員	総務部監理課 経理係長 主任検定員
太田 慧一郎	消火・消防設備部消防設備課 主幹検定員	消火・消防設備部消防設備課 主任検定員

◆消防庁人事◆

○令和4年9月27日付

(氏名)	新	旧
森中 高史	出向 【総務省大臣官房付】 (辞職)	国民保護・防災部防災課地域防災 室長

○令和4年9月28日付

(氏名)	新	旧
佐藤 茂宗	国民保護・防災部防災課地域防災 室長	総務省大臣官房付

○令和4年9月30日付

(氏名)	新	旧
平田 耕拓	辞職 【東京消防庁新宿消防署予防課自 衛消防担当係長へ】	消防・救急課警防係長
反町 恭紀	総務課主査 辞職 【東京消防庁本郷消防署総務課教 養担当係長へ】	内閣官房内閣サイバーセキュリ ティセンター

○令和 4 年10月 1 日付

(氏名)	新	旧
天野 慶	出向 【総務省自治税務局固定資産税課 へ】	総務課
齋藤 健太郎	総務課	総務省大臣官房秘書課
神戸 孝洋	消防・救急課警防係長	東京消防庁杉並消防署総務課教養 担当係長
根岸 悠大	消防・救急課	消防大学校庶務課
秋本 和徳	併任 消防大学校庶務課	総務省大臣官房秘書課
佐藤 徳信	総務課主査 出向 【内閣官房内閣サイバーセキュリ ティセンター 併任 内閣官房副 長官補付へ】	東京消防庁石神井消防署出張所長

新たに取得された型式一覧

認定評価 型式変更評価

種 別	型 式 番 号	依 頼 者	型 式	承認 年月日
非常警報設備・ スピーカー	認評放第 19～1～2号	ジャトー株式会社	コーン型（3W・L級）	R4.8.19
非常警報設備・ 増幅器及び操作部	認評放第 26～11～2号	日本電音株式会社	AC100V、最大12000W	R4.8.16

検定対象機械器具等申請一覧表

種別		型式試験 申請件数	型式変更試験 申請件数	型式適合検定			
				申請件数	申請個数	対前年 同月比 (%)	対前年 累計比 (%)
消火器	大型	0	0	17	3,348	117.3	123.1
	小型	0	0	64	473,860	101.0	106.9
消火器用消火薬剤	大型用	0		2	105	105.0	215.3
	小型用			9	8,898	80.3	89.4
泡消火薬剤		0		26	124,320	68.9	76.0
感知器	差動式スポット型	0	0	32	287,465	136.9	133.4
	差動式分布型	0	0	10	6,805	124.2	133.8
	補償式スポット型	0	0	0	0	-	7.1
	定温式感知線型	0	0	0	0	皆減	皆減
	定温式スポット型	0	0	38	118,874	91.2	131.3
	熱アナログ式スポット型	0	0	8	6,951	146.3	177.4
	熱複合式スポット型	0	0	0	0	-	-
	イオン化式スポット型	0	0	0	0	-	-
	光電式スポット型	0	0	32	125,957	99.3	112.2
	光電アナログ式スポット型	0	0	16	54,983	124.2	150.3
	光電式分離型	0	0	4	135	54.0	178.7
	光電アナログ式分離型	0	0	2	11	13.4	102.5
	光電式分布型	0	0	0	0	-	-
	光電アナログ式分布型	0	0	0	0	-	皆増
	煙複合式スポット型	0	0	0	0	-	-
	熱煙複合式スポット型	0	0	0	0	-	-
	紫外線式スポット型	0	0	1	80	44.4	91.3
	赤外線式スポット型	0	0	8	814	109.6	154.1
	紫外線赤外線併用式スポット型	0	0	0	0	皆減	59.7
	炎複合式スポット型等	0	0	0	0	-	-
発信機	P型1級	0	0	11	29,226	161.5	153.5
	P型2級	0	0	7	3,248	55.3	160.6
	T型	0	0	0	0	-	-
	M型	0	0	0	0	-	-
中継器		1	0	77	45,761	120.9	108.8
受信機	P型1級	0	0	41	1,823	68.3	111.2
	P型2級	0	0	19	5,603	84.8	95.1
	P型3級	0	0	0	0	-	皆増
	M型	0	0	0	0	-	-
	R型	0	0	9	193	393.9	178.8
	G型	0	0	6	13	325.0	120.5
	GP型1級	0	0	9	22	104.8	83.2
	GP型2級	0	0	0	0	-	-
	GP型3級	0	0	9	38,016	144.6	153.2
	GR型	0	0	21	225	120.3	102.6
閉鎖型スプリンクラーヘッド		0	0	37	205,865	139.3	120.0
流水検知装置		0	0	46	3,048	170.4	119.2
一斉開放弁		0	0	19	1,346	108.3	80.9
金属製避難はしご	固定はしご	0	0	1	4	133.3	143.3
	立てかけはしご	0	0	0	0	-	-
	つり下げはしご	0	0	25	13,663	118.7	122.0
緩降機		0	0	4	652	120.7	105.3
住宅用防災警報器	定温式住宅用防災警報器	0	0	20	44,770	43.4	73.9
	イオン化式住宅用防災警報器	0	0	0	0	-	-
	光電式住宅用防災警報器	3	1	41	253,379	63.8	78.9
合計		4	1	671	1,859,463	95.5	104.5

※前年度の申請個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆増」と表記いたします。

※今年度の申請個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆減」と表記いたします。

※前年度及び今年度の申請個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「-」と表記いたします。

性能評価申請一覧表

特殊消防用設備等性能評価業務	性能評価申請件数	性能評価変更申請件数
特殊消防用設備等の性能に関する評価	0	0

受託評価等依頼一覧表

品質評価業務	型式評価 依頼件数	型式変更評価 依頼件数	更新等 依頼件数	型式適合評価			
				依頼件数	依頼個数	対前年 同月比 (%)	対前年 累計比 (%)
補助警報装置及び中継装置	0	0	0	0	0	-	-
音響装置	0	0	0	10	10	2.0	68.4
予備電源	0	0	0	3	25,700	151.2	104.0
外部試験器	0	0	0	2	70	61.9	82.3
放火監視機器	放火監視センサー	0	0	1	397	皆増	91.1
	受信装置等	0	0	0	0	-	150.0
光警報装置		0	0	2	1,500	皆増	皆増
	光警報制御装置	0	0	1	30	150.0	600.0
屋外警報装置		0	0	0	0	-	-
	屋外警報装置に接続する中継装置	0	0	0	0	-	-
消火器加圧用ガス容器	0	0	0	2	81,000	137.3	125.5
蓄圧式消火器用指示圧力計	0	0	1	7	515,000	100.8	108.8
消火器及び消火器加圧用ガス容器の容器弁	0	0	0	4	2,400	141.2	95.4
消火設備用消火薬剤	0	0	0	8	76,311	134.8	97.7
住宅用スプリンクラー設備		0	0	0	0	-	-
	構成部品	0	0	0	0	-	-
動力消防ポンプ	消防ポンプ自動車	1	12	55	83	86.5	86.5
	可搬消防ポンプ	0	7	4	491	148.8	100.7
消防用吸管	呼称65を超えるもの	0	0	0	0	皆減	78.9
	呼称65以下のもの	0	0	1	100	333.3	89.0
消防用ホース	平 40を超えるもの	3	0	4	14,981	90.7	87.2
	平 40以下のもの	0	0	2	5	10,018	56.5
	濡れ	0	0	0	0	-	-
	保形	0	0	0	6	5,530	100.4
	大容量泡放水砲用	0	0	0	0	-	皆減
消防用結合金具	差込式	3	0	0	25	82,292	81.1
	ねじ式	0	0	0	27	12,397	91.8
	大容量泡放水砲用	0	0	0	0	0	-
	同一形状	0	0	1	1	55	2.3
漏電火災警報器	変流器	0	0	0	11	4,322	107.7
	受信機	0	0	0	8	2,858	92.3
エアゾール式簡易消火具	0	0	0	1	22,990	115.0	206.8
特殊消防ポンプ自動車	2	0	0	20	22	84.6	74.0
特殊消防自動車				0	0	皆減	28.6
可搬消防ポンプ積載車	0	2	0	0	0	皆減	皆減
ホースレイヤー	0	0	0	3	6	35.3	69.7
消防用積載はしご	0	0	1	6	170	386.4	105.4
消防用接続器具	0	0	1	16	3,776	129.4	97.8
品質評価業務				確認評価			
				依頼件数	依頼個数	対前年 同月比 (%)	対前年 累計比 (%)
外部試験器の校正				6	20	105.3	80.5
オーバーホール等整備				4	4	80.0	150.0

※前年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆増」と表記いたします。

※今年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「皆減」と表記いたします。

※前年度及び今年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「-」と表記いたします。

認定評価業務		型式評価 依頼件数	型式変更評価 依頼件数	更新等 依頼件数	型式適合評価			
					依頼件数	依頼個数	対前年 同月比 (%)	対前年 累計比 (%)
地区音響装置		0	0	0	26	27,206	91.7	156.6
非常警報設備	非常ベル及び自動式サイレン	0	0	0	45	8,071	180.6	122.6
	放送設備	3	0	2	84	159,136	152.4	109.3
パッケージ型自動消火設備		0	0	0	0	0	-	-
総合操作盤	構成部品	0	0	0	0	0	-	-
		0	0	0	0	0	-	-
屋内消火栓等	易操作性1号消火栓	0	0	1	8	2,045	79.1	96.4
	2号消火栓	0	0	0	4	840	63.3	79.7
	広範囲型2号消火栓	0	0	2	4	530	68.8	135.6
	補助散水栓	0	0	0	0	0	-	-
	ノズル	0	0	0	27	9,624	141.7	115.5
認定評価業務		装着番号付与 確認評価 依頼件数		更新等 依頼件数	製品確認評価			
					依頼件数	依頼個数	対前年 同月比 (%)	対前年 累計比 (%)
屋内消火栓等		0		0	15	93,061	232.1	77.9
認定評価業務		型式評価 依頼件数	型式変更評価 依頼件数	更新等 依頼件数	型式適合評価			
					依頼件数	依頼個数	対前年 同月比 (%)	対前年 累計比 (%)
特定駐車場用泡消火設備		0	0	8	19	11,154	118.8	187.5
認定評価業務		総合評価 依頼件数	型式評価 依頼件数	型式変更評価 依頼件数	更新等 依頼件数	型式適合評価		
						依頼件数	依頼個数	対前年 同月比 (%)
放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備 (評価)		0						
放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備・構成装置			0	0	28	16	16	100.0
								127.3
特定機器評価業務		総合評価 依頼件数	型式評価 依頼件数	型式変更評価 依頼件数	更新等 依頼件数	型式適合評価		
						依頼件数	依頼個数	対前年 同月比 (%)
特定消防機器等		0	0	0	1	19	5,938	25.1
								71.2
受託試験及びその他の評価			依頼件数			依頼件数	依頼個数	対前年 同月比 (%)
受託試験 (契約等)			0					
受託試験 (その他の契約等)						2	2	200.0
評価依頼 (基準の特例等)			0					87.5

※前年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「増」と表記いたします。

※今年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「減」と表記いたします。

※前年度及び今年度の依頼個数が「0個」のものは、対前年同月比及び対前年累計比を「-」と表記いたします。

編集 後記

自身の2022年山岳シーズンを締めくくべく、10月中旬に上高地を訪れています。当地は4月下旬に開山しますが、毎年11月15日に閉山祭を迎え、翌年の開山までの約5ヶ月間の冬眠に入ります。

当地を散策するようになって10年程度になりますが、雄大な自然の中でのトレッキングには非日常を存分に堪能できる絶好の機会だと感じています。山小屋に宿をとり、奥穂高や槍ヶ岳登頂を目指すことも考えられますが、自身の相方を含めた経験と年齢を考慮してのスタイルとなっています。

これまでは、大正池から徳沢まで歩き、折り返して上高地バスターミナルまでのルートでしたが、今年9月からは、バスターミナルから横尾を目指し、同地点を折り返すルートに初めて挑みました。往復20キロメートルを超えますが、健康面も意識した有酸素運動をするため、1キロ10分程度で走破することが目標です。

一方で、2年以上続く新型コロナウイルス感染拡

大により、日本アルプス上高地でも、観光客・登山客の減少で登山道の整備を含む環境保全に係る財政がひっ迫しており、地元ホテル等が奮起され、上高地寄付金型商品「稜線バタークッキー」を開発・販売したとのことです。

さて、今月号では、総務省消防大学校長の鶴巻郁夫様には巻頭のことばを、危険物保安技術協会からは「令和4年度危険物事故防止対策論文募集」を、大阪市消防局予防部からは「令和3年中の規制対象物における火災発生状況（その3）」をご寄稿いただき、誠にありがとうございました。

11月号では、岡山市消防局長の松岡浩志様には巻頭のことばを、総務省消防庁総務課からは「令和5年度消防庁重点施策について」を、総務省消防庁消防研究センターからは「レスキューロボットコンテスト2022における特別共催と表彰」を掲載する予定です。

検定協会からのお願い

検定協会では、消防用機械器具等について検定及び受託評価を行い、性能の確保に努めているところですが、さらに検定及び受託評価方法を改善するため、次の情報を収集しています。心あたりがございましたら、ご一報下さいませようお願いします。

- (1) 消防用機械器具等の不作動、破損等、性能上のトラブル例

- (2) 消防用機械器具等の使用例（成功例又は失敗例）

連絡先 東京都調布市深大寺東町 4-35-16
日本消防検定協会 企画研究課
電話 0422-44-8471（直通）
E-mail
〈kikenka@jfeii.or.jp〉

発行 日本消防検定協会

<http://www.jfeii.or.jp>



本 所 〒182-0012 東京都調布市深大寺東町 4-35-16
TEL 0422-44-7471(代) FAX 0422-47-3991



大阪支所 〒530-0057 大阪市北区曽根崎 2-12-7 清和梅田ビル4階
TEL 06-6363-7471(代) FAX 06-6363-7475



虎ノ門事務所 〒105-0021 東京都港区東新橋1-1-19 ヤクルト本社ビル16階
TEL 03-5962-8901 FAX 03-5962-8905

検定協会だよりはホームページでもご覧になれます。

当該刊行物にご意見・ご要望・ご投稿がありましたら、本所の企画研究部情報管理課検定協会だより事務局までお問い合わせください。
e-mail: kikaku@jfeii.or.jp 専用 FAX 0422-44-8415

